

西神ニュータウン研究会 会報

第253号 2025年12月

■第253回例会記録

- ・日 時 2025年11月20日(木) 18:00~20:00
- ・場 所 西区役所 5階 地域活動支援コーナー
- ・参 加 33 名
- ・テーマ「地域おこし隊～任用から退任までの3年間～」
- ・発表者 中嶋 巴椰氏(神戸市西区役所地域おこし隊)



□自己紹介

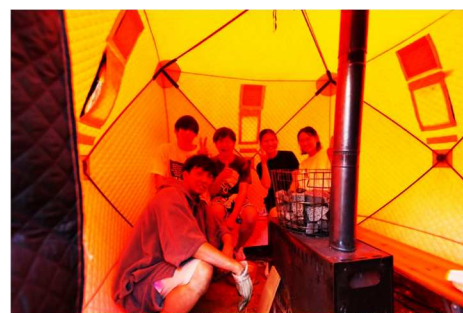
- ・大阪府八尾市生まれ 25 才
- ・フランス料理の道を目指し、渡仏を計画。しかし、コロナ禍で断念。
- ・自分を見つめ直すため飲食業を一度離れ、温浴施設の熱波士になる。週末は北区で耕作放棄地再生に参加
- ・活動の中で現役の地域おこし隊と知り合いになる⇒地域おこし隊に応募
- ・地域おこし隊任用 西区に移住

□神戸地域おこし隊とは

- ・神戸市では、西区・北区の里山・農村地域の活性化を目的に、神戸市独自の制度「神戸地域おこし隊」を2019年から導入しています。
- ・兵庫県外からの移住者が「隊員」となり、神戸市の里山・農村地域を中心に地域活動を行い、定住を図る取り組み、概ね1年～3年の任期で活動します。
- ・西区、北区で、9名が隊員として活動中

□伊川谷町の小寺の竹林でテントサウナのイベントを開催

- ・区内の大学生を対象に広報
- ・都(市)ではできないことを農(村)で発散
- ・「テントサウナで都と農」(と都と農=整う)
- ・農村ならではのサウナ飯を体験。
羽釜で炊いたご飯と地域の野菜で作った豚汁と、竹の筒に野菜を入れて蒸す、竹筒蒸しを参加者と一緒に作る
- ・以降2回目実施や、ピザ窯、焚火をテーマにした野外イベントを企画



○都と農の交流というのは、人の交流だけでなく、都会で普段できないことを農という広いフィールドではっちゃけてできるというのも、都と農の交流だと考える。

農の魅力を知ってもらうには、色々仕掛けがあって盛り上がってる地域という印象を作ることが重要。

⇒都会の人が来てくれる仕組みづくりになる。



□押部谷の桜が丘地域でこども食堂の立ち上げ

- ・助成金に頼らない自走型
- ・子どもも大人も楽しい地域の食堂作り
- ・地域の高齢者等の見守りとしても機能

○どうしたら回るか考え、**子どもだけでなく大人も参加可能な**

「地域の食堂」、子どもも大人も楽しいお金が回る食堂を目指す。

大人からは 500 円をとって食事をしてもらおう。⇒大人でもしっかり食べてもらえる季節のものを使ってバイキング形式に。

○軌道にのるまで 2 年ほど携わる。⇒地域でも話題になり、地域スタッフも増え、お金もプールできるくらい黒字に。現在私も離れ、**地域の方で完全自走型の地域食堂**として成立。**持続可能な仕組みづくり**が可能に。

○ボランティアというのが好きではなくて、お金とかご褒美とか楽しみがないと、いつか絶対終わる。

こども食堂もボランティアなので、スタッフが楽しく、且つお金にも余裕がないと意味ない。**いかに地域が楽しくできるか。いかに楽できるか**を考えるのがネックです。

□中学校の調理実習

- ・当初は、市内の中学校で規格外・廃棄野菜を活用した調理実習を実施、学校近隣の農家さんから規格外品を調達
- ・現在は神戸市（地元）の野菜を使った調理実習にチェンジ。
「地産地消」というテーマに切り替えて実施

○不定期で開催する調理実習のためにわざわざ規格外を収穫して、取っておくという手間が大変。それなら農家さんが普段自信をもって売っている野菜を地産地消として食べてもらったほうが農家は嬉しいという内容のアンケートご意見をいただく。

□3 年目 間借りのスパイスカレー屋をオープンに向けて

- ・定住に向けて事業となると自分の経験から飲食店だろう。スパイスカレー屋をすることに決めました。
- ・西区伊川谷町前開にて「えとなど」を間借りして地域の旬の野菜を使った週 1 のスパイスカレー屋を 6 月にオープン

スパイス食堂 ナカジウム 営業時間：日曜 11 時～15 時（14:30L.O）

住所：西区伊川谷町前開 321（えとなど）インスタ @nakadium_shokudo

□まとめ 3 年活動する中で大切だと思ったこと

- ・ゴール（出口）を想定して動く
- ・最初から 8～9 割定住に向けて動くこと
- ・仲間を見つける・頼ること
- ・ユーザビリティの重要性



□意見交換

○やり残したことは？

←自立した子ども食堂の全校区で。空き家の古民家を民泊できたらコアーワーキングができれば。（中嶋氏）

○持続するには、ボランティアだけでは限界。お金が必要よくわかる。

←地域おこし隊は 3 年限定。自立するには、お金が回らないと、気が付いた。（中嶋氏）

○若い方が農家カフェなど頑張っている。食べに行くのも応援かも。

○若い感覚でここまでできた。引き継いでいってほしい。

←地域おこし隊の連携組織も考えている。（中嶋氏）

（文責 橋本）

ヴィンテージタウンをめざして～まちを住み熟（こな）す～

西神ニュータウン研究会

<http://seishin-ntken.net>